

本家のウィンナワルツに、圧巻の獅子舞も、優雅な舞楽も!

これを聴かなきゃ、観なきゃ、新年は始まらない!



大迫力の獅子舞による熱烈な歓迎を受け、舞楽のたおやかな舞いに見惚れ、“ワルツ王”シュトラウスII世が創設した管弦楽団の高貴で軽やかなウィンナワルツに身を浸す、夢のような時間…港町・横浜が誇る新年の定番公演、横浜みなとみらいホールオープニング・コンサートがこの初春も開催されます!

シュトラウス一家の「真髓」が聴けるオーケストラとして世界に名を轟かす名門中の名門、ヨハン・シュトラウス管弦楽団と指揮者兼ソロ・ヴァイオリニストのヨハネス・ヴィルトナーによる気品と楽しさ溢れるステージ、すでにご存知の方も多いでしょう。定番ながら、同時に少しずつ曲目、演出を変えて楽しませてくれる彼ら。今回はどのように横浜のニューイヤーを飾ってくれるのか、注目です!



圧巻の中華獅子舞

ホール内を所狭しと舞う獅子舞

そして今回も開場時に迎えてくれる中華獅子舞は、噛まれると魔除けのご利益がございます。観るだけでなく、思い切って噛まれてみるのもいいかも…!

打って変わって休憩時には繊細でたおやかな美で魅せる舞楽も登場し、もちろんお帰り時にはお年玉のオリジナルグッズも用意。オープニング・コンサートの贅沢さは、今回も健在です!

観て聴いて、とことん楽しめるニューイヤー! 新年最初のコンサートは、やっぱりこれで決まり!!

日本伝統の美を堪能



舞いを伴う舞楽「舞楽」

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団

Wiener Johann Strauss Orchester

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団は、その前身ヨハン・シュトラウス管弦楽団として、1844年に弱冠19歳の‘ワルツ王’ヨハン・シュトラウス2世により結成され、世界中で愛されるウィーン音楽を生み出した。ウィンナワルツを演奏する真の楽団として現在でもなおその伝統を継承し、その確固たる地位を確立している。初代音楽監督シュトラウス2世は、「美しく青きドナウ」作曲後、ワルツ、ポルカ、マズルカ、カドリールなどを携えたツアーで大成功をおさめた。楽団は多忙を極めたシュトラウス2世から弟エドゥアルトに引き継がれ、さらにその活躍の場を世界に広げた。

その後、エドゥアルト1世の孫で‘ワルツ王’シュトラウス2世の又甥にあるエドワード2世の時代に、“ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団”と改称し、ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートで有名な名物コンサートマスターのウィリー・ボスコフスキーの時代にその名声をさらに高めていった。

そして、ゴールドシュミット、ヴェス、エシュヴェ、ジークハルト、ルードゥナーなどの著名な指揮者を招いて、‘ワルツ王’シュトラウス一族が築いたウィンナワルツの伝統を今に受け継ぎ、聴衆を魅了し続けている。

ヨハネス・ヴィルトナー (指揮&ヴァイオリン)

Johannes Wildner, Conductor & Violin

元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリニスト。国立コシツェ・フィルハーモニー管弦楽団、ブラハ国立歌劇場、ライプツィヒ歌劇場などの首席指揮者を経て、1997~2007年ノイエ・フィルハーモニー・ヴェストファーレンの総合音楽監督を務め、2010~2014年にはBBCコンサート・オーケストラの首席客演指揮者も務めた。また2014年からはウィーン郊外のガルス城で行われる夏恒例のオペラ・フェスティバル「ガルス野外オペラ」の総監督を務めている。

これまで、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、バイエルン放送交響楽団、北ドイツ放送交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団などを指揮し、2008年よりウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団への客演を始め、ウィーン楽友協会ホールなどで公演を行い、好評を博している。100枚以上のCDやDVDをリリースする一方、オペラの指揮にも力を注ぎ、アレーナ・ディ・ヴェローナ「カルメン」、新国立劇場「こもり」など各地で大成功をおさめ、近年は、毎年本楽団と共に来日し、指揮者としても各地で名声を高めている。

Program

- 喜歌劇『こもり』序曲 (J.シュトラウスII)
- ポルカ・マズルカ「燃える恋」 (ヨーゼフ・シュトラウス)
- トリッチ・トラッチ・ポルカ (J.シュトラウスII)
- ワルツ「レモンの花咲くところ」 (J.シュトラウスII)
- メロディー・エン・カドリール (J.シュトラウスII)
- ワルツ「ウィーン気質」 (J.シュトラウスII)

.....

- 喜歌劇「財務責任者」より
ワルツ「いらっしやいませ」 (カール・ミヒャエル・ツィラー)
- ポルカ・フランセーズ「クラブフェンの森で」 (J.シュトラウスII)
- ポルカ・シュネル「ブレーキかけずに」 (エドゥアルト・シュトラウス)
- ワルツ「金と銀」 (フランツ・レハール)
- ポルカ・シュネル「観光列車」 (J.シュトラウスII)
- ワルツ「美しく青きドナウ」 (J.シュトラウスII)

※曲目、曲順は変更になる場合があります。

横浜みなとみらいホール **ウェブフレンズ**のご案内

横浜みなとみらいホールでのコンサートをさらにお楽しみいただくための特典プログラム。ホールの最新情報やお得な情報などをメールマガジンでお届けします。ご登録はこちら →

●文化庁 劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業
18歳以下無料 (限定202席)
本事業は、子供たちに本格的な公演に触れる機会を提供するため文化庁の支援を受けて行われる取り組みです。申込方法等詳細は神奈川芸術協会ホームページの当公演ページにて11月以降発表いたします。